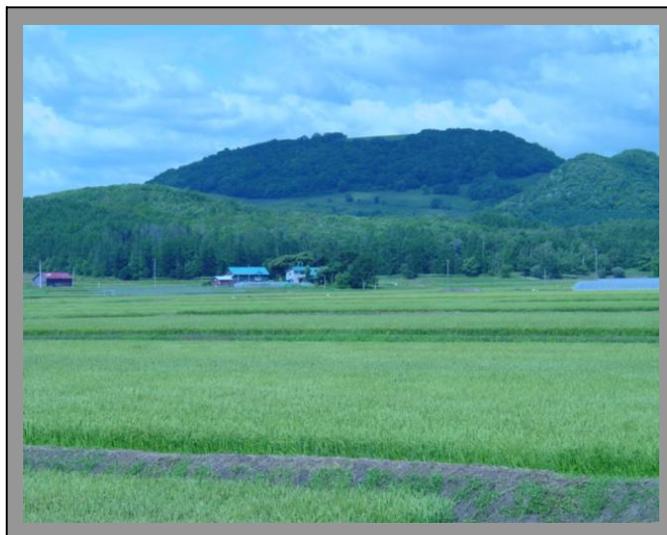


地名：タップコブ／tapkop／コップ山

ぽこんと盛り上がったような丘

アイヌ語のタップコブが省略されてコップ（山）となったようです。タップコブは、「ぽこんと盛り上がったような丘」という意味があります。



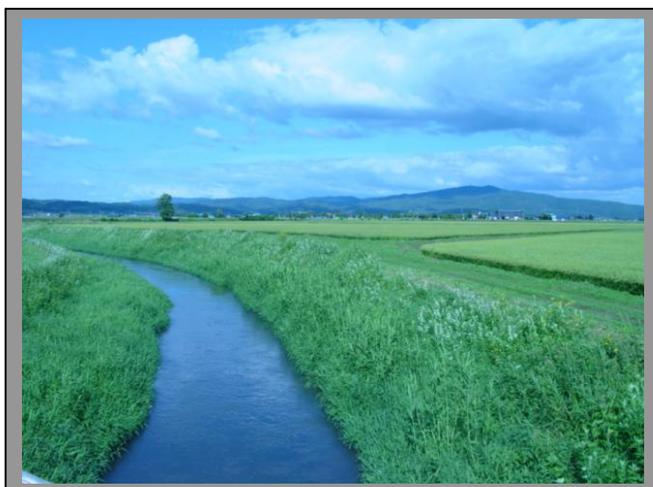
【コップ山】

地名：オサナンゲブ／o-sa-nange-p／納内

川尻にて・^{あし}葎を・刈る・ところ

明治 24 年に北海道庁から出された北海道植民地撰定報文で、オサナンゲブ原野の定義を「北ニウシタップコブ山、南石狩川、西ヲサナンゲブ川、東ポロナイ川をもって境とする地をヲサナンゲブ原野とする」と告示し、このオサナンゲブが現在の納内になったのは、明治 32 年の北海道告示による字名改称時のようです。

オ・サ・ナンゲ・ブはアイヌ語で「川尻にて・^{あし}葎を・刈る・ところ」の意味があります。



【オサナンケップ川】